



図書館だより

2024年6月号 NO. 415
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16



としょかん す 6月 は図書館で過ごしましょう

入梅は雑節のひとつで、毎年6月10～11日ごろにあたります。入梅に「梅」の字が使われているのは、「梅」が熟す頃の雨という意味で生まれた言葉だそうです。

「梅」には、クエン酸が多く含まれ、疲労回復効果があると言われています。また、殺菌、抗菌作用があるため、これからの時期はお弁当などで大活躍です。その他にも、便秘や肌荒れ、二日酔いにも良いそうです。1日1粒食べて、暑い夏に向け、健康な体を作りましょう。

とは言え、この時期は、雨の日が続き、湿気が多くじめじめしていて気分も下がり気味ですね。そんな時は、ぜひ図書館をご利用ください。空調のきいた館内で、自分なりの居心地の良い場所を見つけ、本を読む。下がり気味の気分も上がりそうです。

小学生、中学生、高校生のみなさん、図書館には学習室やカフェもあります。静かに過ごすスペースとおしゃべりをして良い場所のすみ分けしています。ぜひ、図書館に遊びに来てください。

by チッピー

《 図書館カレンダー 》 = 休館日です。

★ 開館時間 : 午前9時30分～午後6時 ★

★ 2024年6月 ★

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | | | | | | |

★ 7月 ★

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

★ YABOOKご紹介 ★

『17 (セブンティーン) シーズン ～巡るふたりの五七五～』

児童書 913 モ 百舌 涼一／著 講談社

物語は中学校。体育祭でのクラスのスローガン決めのシーンから始まる。

『奪えない この青い春 何人も』

クラスで選ばれたスローガンを作ったのは“ぼっち”の音々(ねね)。みんな無記名で書いたもので、誰が作ったかはばれずに済んだ。なるべく目立ちたくないのだ。でも、学級委員で人気者、超イケメンの天神(てんじん)君にはばれていた。このことをきっかけに音々は天神君に「句会(くかい)」に誘われる。

中学2年生から高校2年生までの間、音々、天神君はそれぞれの内面に「ある事」を抱えながらも俳句を通して心を開き、または癒し成長していく。

☆俳句に関する説明もふんだんに盛り込まれていますので、読んでいてもわかりやすいです。(本文中に出てくる「ギンコウ」→「銀行」ではありません。何のことか確かめてみませんか?)

b y チョビコ

読んでみて! 『絵巻 平家物語』(木下順二:文/瀬川康男:絵/ほるぷ出版)

先日、児童書全集の棚で、何気なく「絵巻 平家物語」(木下順二:文/瀬川康男:絵/ほるぷ出版)を手に取りました。ページを開きながら、そういえば、高校生の時、古典は苦手だったなあ…などとぼんやり思い出します。全9巻のシリーズで、けっこうなボリュームです。それでも読もうと思ったのは、あかちゃん絵本『いないいないばあ』でおなじみの瀬川康男さんの装丁に惹かれたからです。各巻が、登場人物の名前になっていて、内容も分かりやすく、1巻目は「忠盛」。平清盛のお父さん。絵本かと思う大きさの本ですが、内容が原作に忠実で、文章も長く、読みごたえがある物語になっています。さらに瀬川さんの絵がとにかく素晴らしい!! 古典的な絵とは全く違っているのですが、その力量にとにかく感服です。毎日1冊ずつ寝る前に読みました。文章と絵が平家物語の魅力を引き出し、読者を中世の世界に連れていってくれる渾身のシリーズです。出版した当時のほるぷ出版に拍手を送ります。

木下順二さんは、あとがきで、「これを入門書にして、本編をぜひ読んで欲しい」と言っています(そして瀬川康男さんへの賛辞も)。なるほど、では、小学館の古典文学全集を、、、と手にとりましたが、いやいや、これは、ちょっと無理。それでも、9巻通して読んだおかげで、全体の流れが頭に入っており、あ、ここはこの場面と分かることもあります。とはいえ、古典の原文を訳にとらめっこしながら読むのは時間がかかりすぎるので、朝の通勤中にユーチューブで口語訳の朗読を聞くことにしました。そういえば、平家物語の作者は不明で、琵琶法師(びわほうし)が口頭で演じたといえますので、耳できくのは意外に正しいのかも! などと悦に入っています。というわけで、最高の入門書、みなさんも読んでみませんか?

by ビクトリア

新着図書の中から、
職員がお薦めの本を紹介します。



◇「おとうさんは 103 さい」

児童書 E オト 信友直子 / 作 吉田尚令 / 絵 さ・え・ら書房

この世界には、どれだけの人が生き、どれだけの人生の物語があるのでしょうか。しかしそれらには、平凡といえるのものは一つとしてありません。どんな人の人生もこうして一冊の本になりうる輝きを持っているものです。この本では、“おかあさん”との出会いによって彩られた人生の思い出に寄り添い、今も一日一日を大切に生きる“おとうさん”の姿が、娘さんのあたたかな視点から語られています。

by コマさん

◇「にっぽんスズメ日誌」

一般書 488 + 中野さとる / 写真・文 カンゼン

スズメのカレンダー「春夏秋冬 365 日 チュン活ちゅーん」スズメたちを観察&撮影した様子 12 カ月ぶんを紹介しています。中野さんのスズメ愛がすごすぎます、どうやったら個々のスズメの顔を識別できるのか驚きです。でもスズメの寿命は1~2年らしく厳しい自然を生きている、あらためてスズメたちの日常を知ることができます。我が家では庭にやってくるスズメのことを「Pちゃん」と呼んで、家の中から観察会です、いつも癒しをありがとう。

by 左利き

◇「ようかいばあちゃんとようかいだんしゃく」

児童書 913 モ C 最上 一平 / 作 種村 由希子 / 絵 新日本出版社

「春になると、りんご畑がいっぱいあるから花だらけになる。すみれちゃんにもみせてやりたいな〜」といわれ、ようかい村に行くことに。

ようかいばあちゃんとふたりだけのおとまり。だんしゃくいもの植え付けをとおして、自然とのかかわりをやさしくおしえてくれるようかいばあちゃん。田舎のじょうけいが思いうかび、よんでほのぼのとしませう。

by くるみとミルク

◇「もう明日が待っている」

一般書 913.6 スズ 鈴木おさむ / 作 文藝春秋

国民的グループに20年以上伴奏してきた放送作家の著者が、メンバーの脱退・結婚・5人旅・東日本大震災発生10日後の生放送などについて書いた「小説」。

著者が「この物語は小説である」と書いているので小説なのだろうが、深読みしてしまう作品。

by 文殊

「おはなし会」のお知らせ

🌈 しゃぼん玉の英語のおはなし会 🌈

6月2日(日) 午前11時 ~ 11時30分

😊 図書館おはなし会 😊

6月5日(水)・12日(水)・19日(水)

午前10時 ~ 10時30分

🐸 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 🐸

6月8日(土) 午前10時30分 ~ 11時

🌈 クーミンの英語のおはなし会 🌈

6月16日(日) 午前11時 ~ 11時30分

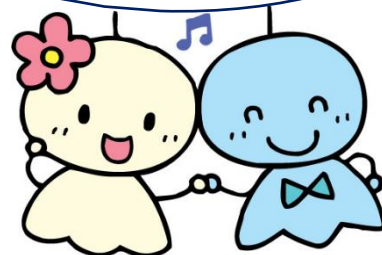
😊 わらべうたおはなし会 😊

6月22日(土) 午前11時 ~ 11時30分

🐸 ぽっぽのおはなし会 🐸

6月26日(水) 午前10時 ~ 11時

すべて参加自由・無料です。
場所は1階絵本コーナーです。



6月の企画展示紹介

1階企画展示

世界のおともだち

2階企画展示

心と体、健やかに

カフェ前展示

教養携帯
~キタイバ文庫の100冊~